

消化器外科

主な対象疾患

- 悪性腫瘍：・食道がん ・胃癌 ・大腸がん ・直腸がん ・肝細胞癌 ・胆管癌
・膵癌（癌、肉腫、GISTなど） ・一部希少癌腫瘍（小腸癌 GISIT 神経内分泌腫瘍）
・膵嚢胞性疾患
- 慢性疾患：・胆石症 ・鼠径ヘルニア ・腹壁ヘルニア
- 急性疾患：・消化管穿孔 ・急性胆嚢炎 ・虫垂炎 ・腸閉塞
・肝脾損傷（肝脾腫）
- 他科手術応援：・他領域悪性腫瘍の消化器合併切除 ・CVポート留置



部長
なかじま さなえ
中嶋 早苗
H4年卒

専門分野
消化器外科内視鏡外科

資格等
日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
検診マンモグラフィ読影認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医
手術支援ロボット認定資格(da Vinci certificate)

■その他当科の医師が保有する資格

日本消化器病学会専門医
日本肝胆膵外科学会高度技能専門医
ロボット支援プロクター

診療科の特徴

●ロボット・腹腔鏡による「低侵襲手術」の徹底（実績約9割）

悪性腫瘍（胃癌・大腸癌等）から胆石・ヘルニアまで、体に優しい手術を積極的に行っています。令和6年度は悪性手術の約9割をロボット支援下、または腹腔鏡下で施行しております。根治性を損なうことなく、患者さんに優しい手術での早期回復・早期退院を目指します。

●専門医集団による「高度な外科治療」

内視鏡外科学会技術認定医3名、ロボット支援手術プロクター2名、肝胆膵外科学会高度技能専門医1名が在籍しています。各領域（上部・下部・肝胆膵）のスペシャリストが揃っており、難度の高い症例に対しても質の高い手術を提供できる体制を整えています。

●悪性疾患も「待たせない・諦めない治療」を

悪性疾患も待機時間を極力短縮、検査も受診日当日に可能な限り施行し、受診日から1ヶ月以内の手術を目標としております。また、進行がんに対しても抗がん剤や放射線を組み合わせた術前・術後療法により、根治性を高める治療に注力しています。

●「急性腹症」にも迅速に対応

年間236件の緊急手術実績があり、急性腹症など他施設からの急を要するご紹介にも迅速に対応いたします。

地域医療機関の先生方へ：ご紹介時のお願い

悪性腫瘍の疑いがある患者さんがおられれば、まずはFAX予約にて診察のご依頼をお願いいたします。治療を急ぐ必要がある場合は、お電話でのご連絡を頂ければ対応して参ります。また、診断や治療にお困りの症例がありましたら当院にご紹介いたしますようお願いいたします。